### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	体育振興及び	指導事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施するのか)	体育指導員の活動	かの活性化を図り	、スポーツ活動を	通じ、市民の健	- 東を保持・増進させ	<b>:</b> る。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	体育指導委員の た、外部講師を	会議を開催し、年 招き、スポーツに	間事業について検 対して関心を持て	記するとともに、 るような事業、3	体育館の有効利り マはスポーツの基礎	用についても意見を交換する。ま <b>분を学べる事業を展開する</b> 。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	ことができるよ			に親しみ、サーク	フル活動等を通し <sup>.</sup>	て健康づくり、余暇の充実を図る
事業開始時の状況緯	・これまでの経	スポーツ推進委員	員を選任し、体育打	指導を行うととも	っに、外部講師を招	き、各種事業	を開催している。							

### [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地方	債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
_		実績額				0				0					0	0
入その	他	計画額				0				0					0	0
à		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ 一 般!	財源_	計画額	129, 000	129, 000	129, 000	387, 000	59, 000	00,000	59, 000		59, 000	59, 000	59, 000	59, 000	236, 000	800, 000
t=		予算計上額	129, 000	57, 000	59, 000	245, 000	59, 000	,		118, 000					0	363, 000
		実績額	0	28, 000	28, 000	56, 000	24, 000			24, 000					0	80, 000
事業費	合計	計画額	129, 000	129, 000	129, 000	387, 000	59, 000	00,000	59, 000	177, 000	59, 000	59, 000	59, 000	59, 000	236, 000	800, 000
		予算計上額	129, 000	57, 000	59, 000	245, 000	59, 000	59, 000	0	118, 000	0	0	0	0	0	363, 000
業		実績額	0	28, 000	28, 000	56, 000	24, 000	0	0	24, 000	0	0	0	0	0	80, 000
費			指導報償	指導報償	指導報償		指導報償	指導報償								
事業費予	予算の															
の内容	容															
推																
1E			前年度同額	事業の講師を外	講師の人数調整		前年度同額	前年度同額								
移前左座系	マ 年 し			部講師から地域			的干及问题	加一人人門頭								
前年度予の比				おこし協力隊に												
(増減理				変更したことに よる減												
				5 ·0/194												
			新型コロナウイ	想定より講師数	講師の欠席に伴		講師が想定より									
実績との	の比較		スるの影響によ	や報酬額が少な	う減額		も少ない人数で 事業を実施する									
(増減理			り事業が中止と なったため	くなつに争耒か あったため			争果を美施する ことができたた									
			5. 5.12.25				<i>b</i>									
							U			l.	l					

Ħ	標の排	移・	評価															
77	動指標	<b>[1</b> (	「手段」をもとり	に設定)	指標名:事業数			指標の求め方: 事	掌業数									
F	某指標	₹1 (	「成果」をもとり	に設定)	指標名:事業参加	加延人数		指標の求め方:事	事業数×1事業当	とり30人								
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画				3次実施4力年計	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指		動指標 1 (単位/数)	計画値実績値	7 5	7	7 5		7	7	7		7	7	7	7		
	標	成	果指標 1	計画値	120		<b></b>		120	. <b></b>	120		120	120	120	120		
	$\vdash$	_	(単位/人)	実績値	16	114	69		52									
		()	業の達成度 舌動指標をも 業の成果	とに評価)				ほぼ達成されている										
		(Д	成果指標をも	とに評価)				変わらない										
			業の効率性 事業費に対す	る成果)				少し上がっている										
		総	合評価					良好である										
	事務事業評価	5 3	理由ま	平価の判断標 たは関標 ではに関す	新型コレナウの ルで事業が を は で は 概 の 参 が の 参 が に が の 参 に た が の き に が る る た る る た る る た る る た る る た る た る た	める事業につい ては、好評のた	ノウ歩にない。 ルオイスい画なでは、 カースの計とでは、 カースのでは、 カーなが、 カーを カーでもが、 カーなが、 カーとが、 カーなが、 カーなが、 カーなが、 カーとが、 カーなが、 カーなが、 カーとが、 カーをが、 カーとが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーをが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーをが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーをが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーとが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーとが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーとが、 カを、 カーとが、 カーとが、 カーとが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーとが、 カーとが、 カーをが、 カーをが、 カを、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 りが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 りが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 カーをが、 りが、 カっとが、 カっとが、 もが、 もが、 もが、 もが、 もが、 もが、 もが、 もが、 もが、 も	ル響事数をて数るとあた。ル響事数をて数るとあた。は建とはおり増業ら、かまらと、からいでは、からいのでは、はいのではいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのではいいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのではいいので	室を歩くスキマンスキー なが、大きにの動情である。 でででできたとり できたとと評している。 をある。 をある。 をある。 をある。 をある。 をある。 をある。 をあ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		슼	 ·後の方向性					現状のまま継続										
	-		~~~~		R5 :				R8 :			I.	R10 :					
	改	善、改	D判断理由 <b>女革の内</b> 容 8、R10)		一定程度目的は れているものも	達成されているが あることから、地 見直すなどして「	域おこし協力隊の	SNS等も利用しな										

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	少年スポーツ	/教室開催事業	ŧ		事業期間	昭和	51年度 ~ -	- 年度					1	<u>'                                     </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施するのか)	スポーツに接する また、スポーツ	る場を増やし、ス 舌動を通して、基	ポーツに関する知 礎体力の向上、心:	識や技術を身に 身の健全育成を	ー つけ場を提供する。 はかる。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	各競技連盟に、2 教室は、4種目で	少年スポーツ教室 で、各種目10回開	の開催を委託し、 催する。	各連盟に20,000F	円の謝礼を払う。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	少年(スポーツタ	少年団も含む)						成果 (どのような効果が 得られるのか)	多くの少年達がス	スポーツに接する	場が増え、スポー	-ツに関する知識や	o技術を身につける	ることができる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	少年スポーツ教園	室は、4競技種目	(軟式野球、サッ	ッカー、剣道、バス	ケットボール)	)を、各種目10回2	スポーツ教室を各競	技連盟に委託し関	見催している。				

### [DO]

実績

				第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地	方債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
, _		実績額				0				0					0	0
入そ	の他	計画額				0				0					0	0
à		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
ねー	般 財 源	計画額	80, 000	80, 000		240, 000	80, 000	,	80, 000		80, 000	80, 000	80, 000	80, 000	320, 000	800, 000
<i>t</i> =		予算計上額	80, 000	80, 000	80, 000	240, 000	80, 000			160, 000					0	400, 000
		実績額	80, 000	80, 000		240, 000	80, 000			80, 000					0	320, 000
事事	業費合計	計画額	80, 000	80, 000	80, 000	240, 000	80, 000	,	80, 000	240, 000	80, 000	80, 000	80, 000	80, 000	320, 000	800, 000
		予算計上額	80, 000	80, 000	80, 000	240, 000	80, 000	80, 000	0	160, 000	0	0	0	0	0	400, 000
業		実績額	80, 000	80, 000	80, 000	240, 000	80, 000	0	0	80, 000	0	0	0	0	0	320, 000
費の推	業費予算の 内容		スポーツ教室指 導謝礼	スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指 導謝礼		スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼								
移前	年度予算と の比較 増減理由)		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
実(	績との比較 増減理由)		同額	同額	同額		同額									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:事業延回数	指標の求め方:種目数(4種目)×開催回数(10回)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:参加延人数	指標の求め方:参加延人数

		( , , , , , , ,				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			<b>逆</b>	3次実施4力年計	一		or → ₩P
				-	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	40	40	40		40	40	40		40	40	40	40		
	指標	(単位/回		実績値	63	61	59		63	1 100	1 100		1 100	1 100	1 100	1 100		
	伝	成果指標 (単位/人		計画値実績値	1, 100 1, 707	1, 100 1, 300	1, 100 1, 449		1, 100 1, 304	1, 100	1, 100		1, 100	1, 100	1, 100	1, 100		
		事業の達		夫棋胆	1, 707	1, 300	1, 449		1, 304									
		(活動指標	票をもとに	に評価)				達成されている										
		事業の成 (成果指標	果 漂をもとに	こ評価)				上がっている										
		事業の効	率性 こ対する月	成果)				上がっている										
		総合評価	i					良好である										
事務事業評価	評価内容	3	総理の実 会評価た値 本 を 自己分 を も る 自 る 自 る も ま を も ま を も ま を も を も る も る も る も る も る も る も る も る も	のはに関手を	コロナウイルス 感染症対策を行いながら、例年 通り実施が出来	事業回数及び参加人数は計画値を上回ったが前に を加入数が前年を加入数が前年 がいた幅に減少した。	自括値画い各計実え で で 自 は で と に と に と い と に と に と に と に と と と と と	事業回数及と 事業回数と を を を は で に で に に に に に に に に に に に に に	各指標がいずれ も計画値を実績 値が上回る結果	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	排 断理 由:	
		<u> </u>	· ch ##					現状のまま継続										
		今後の方	刊生		R5 :			<b>水仏のまま極続</b>	R8 ·				R10 :					
	改善、	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	内容		スポーツ少年団員	(の知識や技術の) のであることか	句上はもとより、 ら「現状のまま継	スポーツ活動の 続」とする。	R8 :				KIU :					

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	スポーツ協会	活動支援事業	ŧ		事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施するのか)	市民の自主的な体	本育活動を支援す	ることにより、砂	川市における各	種スポーツ活動を普	予及させる。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	砂川市スポーツ協	協会及び、砂川市	スポーツ協会加盟	<b>翌団体の少年団に</b> 補	#助金を交付する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市スポーツセ	協会及び加盟団体	•					成果 (どのような効果が 得られるのか)	体育団体の運営が	が維持されるとと	もに、自主的なス	スポーツ団体活動を	を助長させる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	行財政改革により	り、平成20年度から	ら1割削減する[	団体補助の見直しが	図られている。	,							

### [DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入 そ の 他 計 画 額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	368, 000			1, 104, 000	368, 000	000, 000	368, 000	, ,	368, 000	368, 000	368, 000	368, 000	1, 472, 000	3, 680, 000
を お	368, 000	368, 000		1, 104, 000	368, 000	368, 000		736, 000					0	1, 840, 000
天 祺 创	350, 400	345, 600	,	1, 033, 200	321, 400			321, 400					0	1, 354, 600
事 事業費合計 計 画 額	368, 000	368, 000	368, 000	1, 104, 000	368, 000	368, 000	368, 000	1, 104, 000	368, 000	368, 000	368, 000	368, 000	1, 472, 000	3, 680, 000
予算計上額	368, 000	368, 000	368, 000	1, 104, 000	368, 000	368, 000	0	736, 000	0	0	0	0	0	1, 840, 000
業 実績額	350, 400	345, 600	337, 200	1, 033, 200	321, 400	0	0	321, 400	0	0	0	0	0	1, 354, 600
費	183,000円	体育協会補助金 183,000円	183,000円			助金								
事業費予算のの内容		スポーツ少年団 育成補助金	スポーツ少年団 育成補助金		183,000円 スポーツ少年団	183,000円								
178	185,000円	185,000円	185, 000円		育成補助金	育成補助金								
推						185,000円								
移	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額					-	<del></del>		
前年度予算と														
の比較 (増減理由)														
V-8///														
	スポーツ少年団	スポーツ少年団	団員数の減少に		少年団の数の減									
実績との比較	員の増加による 増額	員の減少により 減額	伴う減		(6→5) 及び団 員数の減による									
(増減理由)	1年 0月	//9、仓员			貝剱の減による もの									
			1		U			l	l					

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:スポーツ協会補助金、スポーツ少年団補助金	指標の求め方:スポーツ協会補助金、スポーツ少年団補助金
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:スポーツ協会登録団体、スポーツ少年団登録人数	指標の求め方:スポーツ協会登録団体、スポーツ少年団登録人数

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		<b>等っ世</b>
				第	1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(;	3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1	計画信		368, 000	{	368, 000		368, 000	368, 000	368, 000		368, 000	368, 000	368, 000	368, 000		
	指標	(単位/円) 成果指標 1	実績値		350, 400	,	337, 200		321, 400									
	悰	(単位/団体	計画信		体 228人		24団体 228人		24団体 228人 21団体 121人	24団体 228人	24団体 228人		24団体 228人	24団体 228人	24団体 228人	24団体 228人		
		人) 事業の達成原	実績値	旦 22回	体 187人	22団体 143人	21団体 131人		21団体 121人									
		手来の達成が		i)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価	i)				変わらない										
		事業の効率性	ŧ					変わらない										
		総合評価						普通である										
事務事業評価	評価内容	理由の実	計画の判 ま 表 は は関 己 分析	数ぼでにポ進をも断標	目のこれがある。 これがある いたがいした動な はでいたがいた動な はでいる。 はいまでは、 といまでは、 といまでも、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	数は前年に比べ	の減少などの要 因により協会の要加 盟団体数が減少も でいるものと考	判少あ登傾補るのがどスすきしらるる断り場向的に置って連つ場合的に、」、明子り録向助に置って連一場役い「と。理しの少数あをで維おにツと割る普判に非はる交少持り様をしをこ通断を明確がは、々経て果とです。 く 経て果とです すが はいかい かんしゅう はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん	人導どな団てが傾かっこののの裏面関が、れ生物のでは、れまのの員おな向る人は、れまのでは、れまのでは、れまのでは、れまのでは、大きいないがは、ままのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、はいいは、はいいは、はいは、はいいは、はいは、はいは、はいは、はいは、は		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	ŧ					現状のまま継続										
		一及の月刊	_	R5 :				シングのの性が	R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		地域に	きえることが	スポーツ活動の推 から、活動を支え ら「現状のまま継	るために継続した	果たしているも 助成、連携が必										

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	スポーツ大会	開催及び出場	<b>勛</b> 助成事業		事業期間	_	年度 ~ —	年度					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業				 	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施するのか)					・ 経費の一部を補助す ーツの振興につない		、事業開催や大会	手段 (どのような方法で 実現するのか)				等であって、かつ、 世界大会の出場者)	、砂川市内のアマチュアスポーツ <sup>」。</sup>
対象 (誰・何を対象として いるのか)	道・管内のスポー 全道・全国・世界	ーツ事業を共催又 界大会の出場者。	は主管して開催す	る体育団体及び何	固人。			(どのような効果が	事業を行うことが	ができる。 する助成について			の負担を軽減し、内容の充実したことにより、スポーツ事業への参
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成17年度に大会 また、大会開催日	会出場の補助率を2 助成では、地元開催	/3から1/3に下げ 性大会である、	E進するためにスポ げたが、その一方で 「アメニティタウン I Nすな 水戸大会を打切り	、平成19年度I がわ少年サック	には、小中学校の音 カー大会」の補助金	『活動における選手を200千円から180 『おきまれる。	、監督は、市外局	居住者も対象とし:			

### [DO]

実績

(単位:円) カ年計画 第 7 期 欠 第10年次 実施4カ年 総合計画

					第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	曲		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ (	の他					0				0					0	0
<b>⇒</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	- 般	財源		1, 265, 000		1, 265, 000	3, 795, 000	1, 821, 000	1, 021, 000	1, 821, 000		1, 821, 000	1, 821, 000	1, 821, 000	1, 821, 000	7, 284, 000	16, 542, 000
+.			予算計上額	1, 265, 000			4, 307, 000	1, 821, 000	.,,		3, 642, 000					0	7, 949, 000
た			実績額	893, 233			3, 858, 858	1, 742, 672			1, 742, 672					0	5, 601, 530
事	事業	費合計		1, 265, 000		1, 265, 000	3, 795, 000	1, 821, 000	1, 121, 111	1, 821, 000	5, 463, 000	1, 821, 000	1, 821, 000	1, 821, 000	1, 821, 000	7, 284, 000	16, 542, 000
****			予算計上額	1, 265, 000	, ,	1, 821, 000	4, 307, 000	1, 821, 000	, ,	0	3, 642, 000	0	0	0	0	0	7, 949, 000
業			実 績 額	893, 233		1, 302, 700	3, 858, 858	1, 742, 672	-	0	1, 742, 672	0	0	0	0	0	5, 601, 530
費の推	内	費予算の P容		成及び全国・全		地元開催大会助 成及び全国・全 道大会出場助成		成及び全国・全	地元開催大会助 成及び全国・全 道大会出場助成								
移	前年度の	₹予算と 比較 找理由)			最近の補助実績 から算出	最近の補助実績 から算出		最近の補助実績 から算出	前年同額								
		:の比較 (理由)		新型コロナウイル ス感染症の影響 で、中止となった 大会が多かったた め、助成が減少し た。		提供粉 (盆卧中		全道大会等の出 場件数(補助申 請件数)の減									

•	指標の	性移	• 評価															
į	活動指	票 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:補助金甲	申請件数		指標の求め方:神	前助金申請件数									
1	<b></b>	票 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:全道大名	会等出場者延人数		指標の求め方: 全	è道大会等出場者	延人数								
							3 カ年計画				3 力年計画				3次実施4力年記			第 7 期
ı					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		i i	舌動指標 1 (単位/件)	計画値実績値	50 13		50 9		50 17	50	50		50	50	50	50		
	1	ans.	成果指標 1	計画値	50				50		50		50	50	50	50		
			(単位/人)	実績値	59	61	27		95									
ı			事業の達成度 活動指標をも	とに評価)				達成されている										
ı			事業の成果 成果指標をも	とに評価)				上がっている										
ı			事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				上がっている										
		á	総合評価					良好である										
	務「	平而内容	理由書	平価の判断標 ではは関す	い全道・全国大 会参加への競技力 の向上やスポー ツへの関心、参	い全道・全国大 会参加への支援 により、競技力 の向上やスポー ツへの関心、参 加意欲向上が図	のが全大大にのと活こりにのと話こりのが全大大にのと活こりです。 いっぱい のとない 投 ス 契 で 切 を が のと  お と  で  のと  お と  で  のと  お と  が  み  で  のと  お  を  が  か  が  か  が  か  き  が  か  が   か  が  か  が  か  が  か  が   か  か		標画もける時間を関いています。 標画もける年高とはいいで数はできた。 はいのを度いがで数にでった。 はいで数でであればできたのはがで数にでのよりはできたのはがで数にでった。 はいがで数にでいる。 はいるで数には増、興いるがは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるには、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		-	今後の方向性					拡大										
					R5:	2+7+01++**	0-14-A-1-1-	1.748 +4 ~	R8 :			11	R10 :				п	
	改				団体に所属するでにはないスポーツ	属する市民は補金国 市民が全道・出場 市民団体での当等 なるよう改善を図 はなるような当を図	大会へ出場してい あることから、市	ることや、市内 外団体に所属す										

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	全道中学生剣	道錬成大会交	₹付金事業		事業期間	平成	2年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施するのか)	はまなす国体を言の中学生剣士が一	記念して、砂川市 −堂に会し技と心	で開催されている: を競い合いながら;	北海道中学生剣: 友情と交流を深	- 道大会に対する経費 める機会を提供し、	対補助をするこ 青少年の健全	とにより、北海道 育成を図る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	大会の運営を手信	伝うとともに、開	催経費の一部を補	助する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	大会参加者							成果 (どのような効果が 得られるのか)	北海道中学生剣道がら友情と交流を	道錬成大会を円滑 を深める機会を拡	に開催することが 大する。	「でき、多くの北海	毎道の中学生剣士/	が一堂に会し技と心を競い合いな
事業開始時の状況 緯			された「はまなすD 平成20年度から109			実施している。								

### [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額	(0+12/	(1+12/	(0+1)2/	0	(31127	(/+/\&/	(0+12)	0	(0十/文/	(10+12/	(11+12)	(12+12)	0	0
		~	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
,^			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
ŧ			予算計上額				0				0					0	0
_			実 績 額				0				0					0	0
れ	- 1	段 財源	計画額	632, 000	632, 000	632, 000	1, 896, 000	632, 000	632, 000	632, 000	1, 896, 000	632, 000	632, 000	632, 000	632, 000	2, 528, 000	6, 320, 000
_			予算計上額	632, 000	632, 000	632, 000	1, 896, 000	632, 000	,		1, 264, 000					0	3, 160, 000
<i>t</i> =			実 績 額	0	632, 000	632, 000	1, 264, 000	632, 000			632, 000					0	1, 896, 000
事	事業	美費 合計	計画額	632, 000	632, 000	632, 000	1, 896, 000	632, 000	632, 000	632, 000	1, 896, 000	632, 000	632, 000	632, 000	632, 000	2, 528, 000	6, 320, 000
			予算計上額	632, 000		632, 000	1, 896, 000	632, 000	632, 000	0	1, 264, 000	0	0	0	0	0	3, 160, 000
業			実 績 額	0	632, 000	632, 000	1, 264, 000	632, 000	0	0	632, 000	0	0	0	0	0	1, 896, 000
費				交付金	交付金	交付金		交付金	交付金								
1		費予算の															
の	7 %	内容															
推																	
110				前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移	前在	度予算と		101 T/X 1-1 DX	7 7 X 1-1 DX	が一次に現		אם נייו אין דיים	が十次に成								
	10.0	り比較															
	(増	減理由)															
				新型コロナウイ	同額	同額		同額									
	実績	との比較		ルス感染症の影響で、中止と													
	(増	減理由)		なったため未支													
				給	<u> </u>												
								ı									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:補助金支出額(円)	指標の求め方:補助金支出額(円)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:参加チーム、参加者数	指標の求め方: 146チーム×6人

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年合計	総合計画合計
	П	活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度) 632,000	(5年度) 632,000		(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度) 632,000	(10年度) 632,000	(11年度) 632,000	(12年度) 632,000		п п
	指標	(単位/円 )	実績値	0	632, 000	632, 000	<b>4</b>	632, 000	002, 000	002, 000		002, 000	502, 500	002, 000	002, 000		
	標	成果指標 1 (単位/チー	L	146チーム 876人	146チーム 876人			L	146チーム 876人	146チーム 876人		146チーム 876人	146チーム 876人	146チーム 876人	146チーム 876人		
		厶、人)	実績値	0	114チーム 634人	121チーム 661人		128 • 686									
		事業の達成度(活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	容	理由ま	『価の判断 でたは関す ではに関す	ルス感染症の影響のため中止となった。	人数ともに計画 値を下回ってい るが、全道規模	値回のの行るてい選図総補助回のの行るてい選図総補助を主ないによって様等がとりい間を活を、とののるにがなる手に的のをが、で認のもにがいるにが、したが、といいのでは、といいのでは、といいのでは、といいのでは、	毎年多くの参加者生会というでは、全年が対していません。 生会にはいるでは、全年のでは、全年が対しるが、全年のででは、 では、できないでは、 では、できないできない。 では、できないできない。 では、できないできない。	値が計画値を下 回っているもの の、年々実績値	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	:		■ 背があり、中学生 大のまま継続」と		して定着してい	R8 :				R10 :					

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	市民体育祭交	付金事業			事業期間	昭和	42年度 ~	_	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業	3						所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施するのか)	市民皆スポーツを	を目指し、市民の	ためのスポーツ活動	動を積極的に奨	- 励するとともに、倒	健康増進を図る	ことを目的とす	(		市民体育祭を実施たり27,000円を3		団体(登録数22	団体)に実行委員会	会(体協)を通じ <sup>∙</sup>	て開催経費の一部として 1 団体当
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民体育祭への参	<b>∲加者</b>						(	<b>だ果</b> どのような効果が られるのか)	市民の健康及び体	本力つくりが図	られる。			
事業開始時の状況緯	年度からスポ-	ーツ振興課の事	業に変	更した。											

### [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国	費言	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道		計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地方		計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入その		計画額				0				0					0	0
₹ e		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ 一般 財		計画額	567, 000	567, 000		1, 701, 000	567, 000	001,000	567, 000	1,111,111	567, 000	567, 000	567, 000	567, 000	2, 268, 000	5, 670, 000
<i>t</i> =		予算計上額	567, 000	567, 000		1, 701, 000	567, 000	,		1, 134, 000					0	2, 835, 000
		実績額	297, 000	378, 000	,	1, 026, 000	486, 000			486, 000					0	1, 512, 000
事業費合		計画額	567, 000	567, 000	567, 000	1, 701, 000		001,000	567, 000	1, 701, 000	567, 000	567, 000	567, 000	567, 000	2, 268, 000	5, 670, 000
		予算計上額	567, 000	567, 000	567, 000	1, 701, 000	567, 000	567, 000	0	1, 134, 000	0	0	0	0	0	2, 835, 000
業	9	実績額	297, 000	378, 000	351, 000	1, 026, 000	486, 000	0	0	486, 000	0	0	0	0	0	1, 512, 000
費			交付金	交付金	交付金		交付金	交付金								
事業費予算	ÍΟ															
の内容																
推																
1E			同額	同額	同額		同額	同額								
移前年度予算	er L.		i-i me	II-J TOK	IPJ TOR		IPJ TOK	1111111								
削年度で昇	<b>₽</b> ⊂															
(増減理由																
			新型コロナウイ		競技人口の減少		競技人口の減や									
実績との比	と重交		ルス感染症のた め中止とした競	い競技団体が	や日程調整が難 航し大会を中止		活動を休止する 団体が出てきた									
(増減理由	自)		め中止とした脱 技団体があった	סט ארבובעאס	机し入芸を中止した団体が複数		団体が出てった									
			ため		あったため。		なった。									
					l		II			l	l					

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:交付金支	出額		指標の求め方:3	を付金支出額									
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:参加人数			指標の求め方:参	<b>廖加人数</b>									
		第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	1		計画値	(3年度) 567	(4年度) 567	(5年度) 567	合 計	(6年度) 567	(7年度) 567	(8年度) 567	合 計	(9年度) 567	(10年度) 567	(11年度) 567	(12年度) 567	合 計	
	指	活動指標 1 (単位/千円		297	378	351		486	507	507		507	307	307	507		
	標	成果指標1	計画値	1, 400	1, 400	1, 400		1, 400	1, 400	1, 400		1, 400	1, 400	1, 400	1, 400		
		(単位/人)	実績値	530	592	724		763									
		事業の達成原 (活動指標を	<b></b> きもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				変わらない										
		事業の効率性	生				変わらない										
		総合評価	17 0/22/				普通である										
事務事業評価	評価内容	理由の多		ルス感染症の影響を受け、中止 とした競技団体	しが実施されてス 市民の要 が一ツ活増進に が最多与している。	て 困が と い 大 と り 指 る し ご 情 。 、 と も に も し ご 情 。 し ご 情 る し ご 情 る し ご 情 る し ご 情 る し ご は る し ご は る も る は る も る は る も る と も る る る も る も る も る も る も る も る も る る る る る る る る る る る る る	ボて技な開様施市活増い「一大ない技がポースを入るでは、一大ないでは、大くでは、大くでは、大くでは、大くでは、大くでは、大くでは、大くでは、大く	えの体り境とがに、たも、がな、前番上できるというない。前様出取りして指標をつるともるともるともなるとは、前様では、前様では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		^% o + n +	LaL.				日本の土土物体										
	今後の方向性 今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5: 毎年恒例のスポー 大会等を開催して していることから	-ツ行事として定: さおり、市民のス: ら「現状のまま継	ポーツ活動奨励、	現状のまま継続が主体となって与健康増進に寄与	R8 :				R10 :					

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	海洋スポーツ振	長事業			事業期間	昭和	52年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施するのか)	施設を開放し、海洋	∮スポーツの普∑	及と市民の体力づく	くりを推進する。	,			手段 (どのような方法で 実現するのか)	平日は団体利用	(申込必要)とし	、土・日曜日は一	-般開放する。ま <i>†</i>	と、常時、指導員を	を配置し、利用者を指導する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	成果													
事業開始時の状況・これまでの経 緯 昭和52年、北光公園内にB&G財団の補助を受け艇庫を開設し、指導員を配置して海洋スポーツが内陸でも楽しめる場として開放している。														

### [DO]

実績

					第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	Ti at
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	- #	般 財源	計画額	1, 443, 00	858, 000	1, 478, 000	3, 779, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	4, 887, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	6, 516, 000	15, 182, 000
			予算計上額	1, 443, 00	1, 563, 000	585, 000	3, 591, 000	2, 476, 000	1, 929, 000		4, 405, 000					0	7, 996, 000
た			実 績 額	154, 19	1, 243, 199	501, 522	1, 898, 916	1, 609, 933			1, 609, 933					0	3, 508, 849
事	事 業	美費合計	計画額	1, 443, 00	858, 000	1, 478, 000	3, 779, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	4, 887, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	1, 629, 000	6, 516, 000	15, 182, 000
			予算計上額	1, 443, 00	1, 563, 000	585, 000	3, 591, 000	2, 476, 000	1, 929, 000	0	4, 405, 000	0	0	0	0	0	7, 996, 000
業			実 績 額	154, 19	1, 243, 199	501, 522	1, 898, 916		0	0	1, 609, 933	0	0	0	0	0	3, 508, 849
費				指導報償 旅費	指導報償 旅費	指導報償 旅費		指導報償 旅費	指導報償、旅								
		費予算の		需用費	需用費	<b>派員</b> 需用費		派員 需用費	東、 需用費、車借上								
の		内容		車借上料	車借上料	車借上料		車借上料	料、会議出席負								
推				備品購入費	備品購入費	備品購入費		備品購入費	担金、【BG】特 別旅費、健診委								
1	_			B&G指導員研修	B&Gスポーツ交	DOC 长谱吕亚枚		去職山席貝担亚 旅費の増	旅費の減、使用								
移	ے عد			旅費等の増	流交歓会開催に	旅費等の減		派員の培 車借上料の増	派員の減、使用 料及び賃借料の								
		度予算と の比較		2000	係る旅費の減、	2000		備品購入費の増	料及び賃借料の 減、備品購入費								
		/減理由)			備品購入費の増			会議出席負担金 の増	の減								
								の増									
				新型コロナウイ	ル 車借上料、備品	指導報償、車借		報償費、旅費、									
	中体	との比較		ス感染症により B&G指導員研修及	購入費の減	上料の減		使用料及び賃借									
		減理由)		びB&Gスポーツオ	<u> </u>			料、備品購入 費、負担金補助									
				会が中止となっ	<i>t</i> =			質、貝担並補助 及び交付金の減									
				ため													

汪	動指標	₹1 (「手	∈段」をもとに言	設定)	指標名:開放日数	<b>数</b>		指標の求め方:	昇放日数									
成	果指標	₹1 (「成	成果」をもとに言	設定)	指標名:利用人数	(人)、1日当たり	の利用人数(人)	指標の求め方:	间用人数/開放日	数								
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	も3カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
H		江东	指標 1	計画値	(3年度) 52	(4年度) 52	(5年度) 52	合 計	(6年度) 52	(7年度) 52	(8年度)	合 計	(9年度) 52	(10年度) 52	(11年度) 52	(12年度) 52		п п
	ŧ	( ))/	疳標Ⅰ 位/日)	実績値	27	36	43		52	32			32	32	32	32		
	村	成果:	指標 1 位/人、	計画値	6,300人 121人	6,300人 121人	6,300人 121人		6,300人 121人	6,300人 121人	6,300人 121人		6,300人 121人	6,300人 121人	6,300人 121人	6,300人 121人		
		人)		実績値	1,815人 67人	5,531人 153人	7,028人 163人		10, 526 • 202									
			の達成度 カ指標をもと	に評価)				ほぼ達成されている										
		事業	の成果					上がっている										
		事業	目標をもと の効率性					上がっている										
			養に対する	成果)														
		総合	評1四		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					新型コロナウイ ルス感染症によ	悪天候により利 用中止もあった	活動指標につい ては、実績値が 計画値に達して	新型コロナウイ ルス感染症の影	活動指標及び成	10%	223 (// :	1101-22		13% (// :	10%		1181-24	
					中止となったことをはじめ、緊	ウイルス感染症 発生前の利用者	いないものの、 コロナ禍の影響	学校による宿泊 学習の際の体験	順調に伸びている。特に成果指									
					急事態宣言によ り艇庫の開放日 も減少した。そ	数に戻りつつあ る。	を受けながらも 3年度以降は利 用者数が回復傾	学習としての利用が多いことか	標は計画値を大幅に上回る実績									
4					も減少した。てれに伴い、利用者も減少してい		同にあり、令和	ら、新たなニー ズへの対応とし て近年人気のあ	さ、事業として									
ž	新   位				る。		標の実績値が計	るサップを導入 するなど、利用	きるものであっ									
	2	F	総合評価				た。	団体からは好評 をいただいてい	/									
4	i i		理由またの実績値	直に関す				をいたたい ることから「良 好である」とす										
1	É		る自己分	rŧλπ				あ <i>、</i>										
į	平																	
١,	<b>5</b>																	
ľ																		
		<b>△</b> ‰	のも向性					現状のまま継続										
	H	フ仮	の方向性		R5 :			511/00 よよ酔航	R8 :				R10 :					
					利用者数は天候に		が多く、年単位で 事業が浸透しつつ											
							ら「現状のまま継											
	<b>*</b>	句性の判	新理中															
	改	善、改革 85、R8、	の内容															

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	スポーツ振興事	業(アメニティ・	タウンすながわマ	アラソン大会)	事業期間	昭和	63年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	スポーツ振興課振興係
	マラソンを通じる商工振興につなり		もとより、ハイウ	ェイオアシス館(	- の利用促進やスマ-	-トインターチ	ェンジの利用など	手段 (どのような方法で 実現するのか)	事業費補助金及び	び各社協賛品。				
対象 (誰・何を対象として いるのか)	大会要項に規定す	する参加者。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	大会を運営することから、商工扱	うえで、ハイウェ 振興を併せた定着	イオアシス館には したマラソン大会	、人気のある店部 となっている。	があり、着替えの	D場所やトイレが完備されている
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	昭和63年から実施	—————————————————————————————————————											

### [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
,			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他					0				0					0	0
<b>5</b>			予算計上額				0				0					0	0
	L.,	:	実績額				0				0					0	0
れ	— £	设 財 源		1, 242, 000	1, 242, 000		3, 726, 000	1, 242, 000	.,,	1, 242, 000		1, 242, 000	1, 242, 000	1, 242, 000	1, 242, 000	4, 968, 000	12, 420, 000
t:			予算計上額	1, 242, 000	1, 242, 000		3, 726, 000	1, 242, 000	1, 242, 000		2, 484, 000					0	6, 210, 000
,-			実績額	0	0	918, 283	918, 283	1, 188, 217			1, 188, 217					0	2, 106, 500
事	事 業	費合計		1, 242, 000	1, 242, 000		3, 726, 000		1, 242, 000	1, 242, 000	3, 726, 000	1, 242, 000	1, 242, 000	1, 242, 000	1, 242, 000	4, 968, 000	12, 420, 000
-114-			予算計上額	1, 242, 000	1, 242, 000	1, 242, 000	3, 726, 000	1, 242, 000	1, 242, 000	0	2, 484, 000	0	0	0	0	0	6, 210, 000
業	-		実績額	2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	- U	918, 283	918, 283		った。 w f m す	0	1, 188, 217	0	0	0	0	0	2, 106, 500
費				スポーツ振興事 業費補助	スポーツ振興事 業費補助	スポーツ振興事 業費補助		スポーツ振興事 業費補助	スポーツ振興事 業費補助								
		費予算の		X 32 1111-23	X 32 110 23	X 32 1111-93		X 32 110 93	X 32 1111-93								
の		内容															
推																	
				前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移	前年	度予算と															
	0	)比較															
	(増	減理由)															
				新型コロナウイ	新型コロナウイ	事業実施後の精		事業実施後の精					·	·			
	実績	との比較		ルス感染症の影響で、中止と	ルス感染症の影響で、中止と	昇に行つ減		算に伴う減									
	(増	減理由)		なったため未支	なったため未支												
				給	給												
									-						•		

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:事業数	指標の求め方:	事業数		
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:事業延べ参加人数	指標の求め方:	事業数1回×390人		•
	第1次実施3カ年計画		第2次実施3カ年計画	第3次実施4カ年計画	第 7 期

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	-44	70.2070 10.00	画値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
	指標		接値 計画値	390	390	390		390	390	390		390	390	390	390		
		Parent Pa	積値	0	0	306		336									
		事業の達成度 (活動指標をもとに記	評価)				達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに言	評価)				上がっていない										
		事業の効率性(事業費に対する成界					上がっていない										
		総合評価	<i>J</i> K7				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の 理由また値に の自己分析	) 料指標す	ルス感染症の影 響のため中止と		以来4年ぶりの 開催となり、 「参加者離れ」 が心配される状 況であったが、 300人を超える		値が計画値には が計画値にの 前年を上回って 次年を次年 ではの では でいうちに 感染症の 影響を	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		 今後の方向性					手段の見直し										
	方向性改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	を開催することか	D出没が多く、ラ が難しくなってい cめ「手段の見直	ることから、コー	保しながら大会	R8 :				R10 :					

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

(単位:円)

事 業 名	いきいき元気	推進事業		事業期間	令和3	年度 ~ 令	和12年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業	1-2-1	1-5-1				所管課係	スポーツ振興課振興係
目的(何のために実施するのか)	保健部局等との過	直携による、健康	・体力づくり	•			手段 (どのような方法で 実現するのか)	親子でのスポーツ専門のインストラ	ツレクリエーショ ラクターによる生	ン活動 活習慣改善指導等	Ţ.		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	レクリエーション	ノ活動等に参加でる	きる幼児から高齢者まで	(生活習慣改善対象者を含む	)		成果 (どのような効果が 得られるのか)	健康寿命の延伸に	こつながる				
事業開始時の状況 緯	・これまでの経												

### [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	·画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地方	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その作					0				0					0	0
<b>≥</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	•	7, 758, 000			22, 874, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	42, 963, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	57, 284, 000	123, 121, 000
た		予算計上額	7, 758, 000	12, 264, 000		32, 523, 000	14, 321, 000	15, 643, 000		29, 964, 000					0	62, 487, 000
15		実 績 額	6, 917, 089	9, 751, 236		28, 175, 665	10, 801, 281			10, 801, 281					0	38, 976, 946
事	事業費合言		7, 758, 000	7, 558, 000	7, 558, 000	22, 874, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	42, 963, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	14, 321, 000	57, 284, 000	123, 121, 000
-alle-		予算計上額	7, 758, 000	12, 264, 000	12, 501, 000	32, 523, 000	14, 321, 000	15, 643, 000	0	29, 964, 000	0	0	0	0	0	62, 487, 000
業		実績額	6, 917, 089		, ,	26, 827, 731	10, 801, 281	0	0	10, 801, 281	0	0	0	0	0	37, 629, 012
費			報酬旅費	報酬 旅費	報酬 旅費		報酬、職員手当 年 共済费 旅	報酬、職員手当 等、共済費、旅								
	事業費予算0	D		需用費	需用費		費、需用費、手	費、需用費、手								
の	内容			借上料	借上料		数料、健康診断	数料、健康診断								
推			備品購入費	備品購入費	備品購入費		委託料、使用料 及び賃借料 等	委託料、使用料 及が賃借料 等								
100				地域おこし協力	職員手当等の増			国の補助内容の								
移	前年度予算と	L		隊を2→3名に増	1,00-1		増、旅費の増、	改正に伴う人件								
	の比較	-		員したことによ			消耗品費の増、	費(報酬、職員								
	(増減理由)			る増			健康診断委託料 の増、建物借上	于ヨ、共済貸、 負扣金)の増								
							料の増等	<b>У</b> СШУ <b>У</b> У-В								
			地域おこし協力隊	手数料の減	費用弁償と期末		隊員が年度の途									
	実績との比較	校	の1名がアパート を借りなかったこ		手当及び手数料 の減		中で退職したこ とに伴う報酬、									
	(増減理由)		とによる建物等借		<b>リノ が</b> 以		建物借上料、手									
			上料の減				数料の減									
				1			<u> </u>	<b>.</b>		l	l					

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:事業延べ回数	指標の求め方:事業延べ回数
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用者延べ人数 (レクリエーション活動を通してトレーニングルームを利用するようになった者も含む)	指標の求め方:12回×40人

				30)	第 1 次字体	3 カ年計画			笠 2 ヶ宝 塩	3 力年計画			筝	3次実施4カ年言	+面		7/2 = 410
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標			l	l	L	12	L	12		12	12	12	12		
	指標	(単位/回	747/12	480	00			75 480		480		480	480	480	480		
	I DA	成果指標 (単位/丿		16	<b>{</b>	732		1, 198	400	400		460	400	400	400		
		事業の達 (活動指標					ほぼ達成されている										
			票をもとに評価)				上がっている										
			に対する成果)				上がっている										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	3	総合評価の判関 理由または指 の実績値に関す る自己分析	10月ンでは、10月にのトー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	協力隊が「いきのがが「いっぱいが」である。ことでは、一切が一大手をしまる。これでは、一切がある。これでは、一切がある。	活て地隊シム当い回成でにきたいできた。一次では、いき力きう担伴にいていていていていていていていていていていていていていている。これにいては、いちのでは、いものでは、いはのでは、いはのは、いはのでは、いはのでは、いはのは、いはのは、いはの	協二連はいグやてと康て「とかがル導、二」事を市にこで。がル導、二」事を市にこで。ががはるう独議で増い良すのがあるとのでは、二、日本のでは、一、日本のできていて、「というできている」という。	「アので、ほから、これでは、から、これでは、から、これでは、から、これでは、から、これでは、から、これでは、から、これでは、いった。 いっぱい でいっぱい でいっぱい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい								138/1-24	
		今後の方	向性				拡大										
	今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		えて、様々なニー 曽進を図るための			R8 :				R10 :							

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	レクリエーシ	ョン運動・名	<b>各種スポーツ教</b>	室開催事業	事業期間	令和	]3年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-5-1	他に関連する 基本事業	1-3-1	1-5-1				所管課係	スポーツ振興課振興係
目的 (何のために実施する のか)	レクリエーション 障がい者の参加も	ν運動やスポーツ 。積極的に受け入	/教室を通じて、健 れ交流の場を広げ	康的で地域との3 る。	- 交流がある豊かな生	∃活を送れるよ	うにする。また、							つせ参加を促す。第1次実施計画に D連携をはかり、事業を地域に定
対象 (誰・何を対象として いるのか)	レクリエーション	<b>ノ</b> 及びスポーツ教	室に参加できる市	民。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	一般の市民はも 化する。また、	,とより、障がい者 これまで体育館を	の基礎体力の向上 利用していなかっ	こなどを促すととも った障がい者及びB	っに、地域の障がり 関係の団体の利用し	い者への理解を深め、交流が活性 こつながる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	令和3年度に東	京オリンピック・/	· パラリンピック競	竞技大会組織委員会	より、同大会	で使用したシッティ	ィングバレー及びポ	ッチャの床材が	無償譲渡されたこ	とから、各競技を	行う際の必要な備	話品を整備した。	

### [DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計			第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額				0				0					C	0
				予算計上額				0				0					C	0
				実績額				0				0					C	0
	道		費	計画額				0				0					C	0
				予算計上額				0				0					C	0
				実績額				0				0					C	0
	地	方	債	計画額				0				0					C	0
投				予算計上額				0				0					C	0
				実績額				0				0					C	0
入	そ	の	他	計画額				0				0					C	0
ŧ				予算計上額				0				0					C	0
-				実績額				0				0					C	0
れ	- #	般 財	源	計画額	0	0	0	0				0					(	0
				予算計上額	0	0	0	0	340, 000	150, 000		490, 000					C	490, 000
た				実績額	0	0	280, 000	280, 000	340, 000			340, 000					C	620, 000
事	事 業	美費 合	計	計画額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1				予算計上額	0	0	0	0	340, 000	150, 000	0	490, 000	0	0	0	0	0	490, 000
業				実績額	0	0	280, 000	280, 000	340, 000	0	0	340, 000	0	0	0	0	0	620, 000
費の推	事業	費予算 内容	草の						講師謝礼 旅費 宿泊費	講師謝礼(交通 費込)								
移	0	度予算 の比較 別減理由							皆増	謝礼単価の減と 宿泊費を必要と しなかったこと によるため								
	実績(増	をのり は は 理由	比較由)				当初予算には計 上しておらず補 正予算により対 応したため皆増 となった。		同額									

		として設定)	指標名:事業数			指標の求め方:										
果指標	1 (「成界	具」をもとに設定)	指標名:事業延·			指標の求め方:	事業数1回×30									
					3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記			第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計画
指	活動指 (単位		1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
標	成果指	標1 計画値	30 29		<b></b>		30 28		30		30	30	30	30		
	事業の	達成度	23	29	11	ほぼ達成されている										
	事業の	=				少し上がっている										
		効率性 貴に対する成果)				少し上がっている										
	総合評	価				良好である										
事務事業評価内容		総合評価の判断 理由または間 の実績値に関す る自己分析	クピたしツテとのは、 がすべた、 がすがればあるがチ会かだい。 がでればない、 がでればない、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいたは、 がいた。 がいた。 がいた。 がいた。 がいた。 がいた。 がいた。 がいた。	体験会を行い、 障がい者の方も 含めた老若男女 で交流ができ、 参加者からは好	ボでンリ穂でという。 一東ピス氏バー( 東ピス氏バー( 東ピス氏バー( 大の室 大の室 大のでで 大のでで 大ので 大ので 大ので 大ので 大ので 大		選ス連「教至価室でに出い、とでルに評教い高いとで、とでルに評教いるにのは、とでルに評教い高いのでものにいいに評教い高いとので、とでルに評教い高い。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
H	今後の	方向性	R5: 「現状のまま継	続」しつつ、これ	まで体育館を利用	現状のまま継続することが少な	R8 :				R10 :					
改善	性の判断 、改革 <i>0</i> i、R8、R	D内容		が関係団体にも使												

### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	艇庫整備事業	ŧ			事業期間	令和!	5年度 ~	令和5年度					1			
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	3-5-2	他に関連す 基本事業						所管課係	スポーツ振興課海洋センター管理係		
目的 (何のために実施する のか)	手段 体育施設の整備充実に努めることにより、誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境を整える。 (どのような方法 実現するのか)									海洋センター艇庫やカヌー乗り場の整備を行う。現在はカヌーが半分水に漬かった状態でカヌーの乗り降りを行っており、障がい者や高齢者の乗り降りには不便であるため、カヌーを水場にスライドさせるためのマット等を敷き、陸地での乗り降りを可能にする。						
対象 (誰・何を対象として いるのか)	海洋センター艇原	車利用者。特に障	がい者や高齢者等	のカヌーの乗り	降りが困難であるマ	川用者。	施設の長寿命化が書者や高齢者のが			きるとともに、カラ	マー乗場を改修す	ることで、乗り降りが楽になり障				
事業開始時の状況・これまでの経緯																

### [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第 7 期				
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他					0				0					0	0
t		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源				1, 100, 000	1, 100, 000				0					0	1, 100, 000
た		予算計上額			0	0	0	612, 000		612, 000					0	612, 000
15		実 績 額			0	0	0			0					0	0
事	事業費合計		0	0	1, 100, 000	1, 100, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1, 100, 000
-114		予算計上額	0	0	0	0	0	612, 000	0	612, 000	0	0	0	0	0	612, 000
業		実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費の推	事業費予算の 内容						乗降場整備は課題事事度はない。 一個ではないはない。 一個ではないのではないできます。 できまれる。 できまれる。	工事請負費								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)							皆増								
	実績との比較 (増減理由)				明確な整備計画 がなく、事業が 先送りとなって いる現状であ る。		今年度は予算計 上なし									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:成果指標の設定が困難であることから設定しない

MATERIA ( MATERIAL)					第1次軍施	3 カ年計画			第2次軍施	3カ年計画			一	3次実施4力年記	3 次実施 4 カ年計画			
				F	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次 第5年次 第6年次 実施3カ年				第7年次	第 7 期 総合計画				
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	合 計
		活動指標		計画値														
	指	(単位/		実績値														
	標	成果指標	` .	計画値			 				 							
		(単位/		実績値														
	事業の達成度 (活動指標をもと			こ評価)				達成されていない										
	事業の成果		- 41 142				±1 × 1 .											
	(成果指標をもとに評価)		に評価)				変わらない											
	事業の効率性						変わらない											
	(事業費に対する成果)		<b>文果</b> )															
		総合評価	i		. =			普通である		. = 0.12		Lucial and the second s	. = 0.12					
事務事業評価	評価内容		総合評価た を を は を 自 己 分 れ る 自 己 分 え る も さ る も る も る も る も る も る ら も る ら も る ら も る ら も る ら も る ら る ら	のはに関が	自己分析:		自予未今のが予いてる。 となじ めな く。となじ めな	ており、評価が 難しいことから 「普通である」 とした。	令和7年度以降 の施設の管理運 営を見通すた	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	A% a + a +						手段の見直し											
	今後の方向性				R5 :			丁松の元回し	R8 :				R10 :					
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		į.		スポーツ交流交歓 講を行う予定。	会【水上の部】を	開催予定であ	K8:				KIU :						